

令和 7 年度 高崎市障害者支援協議会 権利擁護部会 議事録

1. 日時 令和 7 年 9 月 29 日（月） 14:00～

2. 場所 高崎市総合保健センター 第 4 会議室

3. 出席者

- ・ 部会長: 根岸 洋人（高崎健康福祉大学）
- ・ 委員: 富所 秀仁、樋口 美希、川又 拓巳、高橋 俊一郎、星 美和、佐藤 智子、新井 幸江
- ・ 事務局: 横澤 障害福祉課長、飯野 課長補佐、水出、情野（司会）

4. 議事概要

(1) 開会・あいさつ

- ・ 横澤障害福祉課長:

障害福祉課が運営する就労継続支援 B 型事業所「くらぶちメロン村」の近況報告があった。昨年の運営開始から 1 年が経過し、利用者は現在 10 名。本年 4 月末からのメロン販売は好調で、3 ヶ月で約 750 玉を販売した。猛暑の影響による生育不良もあったが、現在は回復傾向にあるため、周知と利用者紹介の依頼があった。

- ・ 事務局（飯野課長補佐）:

協議会の構成について説明。全体会の下に定例会があり、さらに課題別に 4 つの部会（生活支援、権利擁護、地域生活支援拠点、計画策定）が設置されている。

定例会で各相談支援事業所から挙げられた課題（課題報告シート）を振り分け、専門的な協議を行うのが部会の役割である。本日の権利擁護部会では、定例会から振り分けられた「虐待防止」「差別解消」「権利擁護（成年後見制度等）」に関する課題について協議し、市の施策や取り組みを検討したい旨の説明があった。

(2) 協議事項 根岸部会長の進行により、以下の事例について協議が行われた。

① 議題 1：定例会課題報告シート 5 について

事例概要:

50 代男性、精神障害、生活保護受給中。措置入院後、グループホーム（GH）を希望しているが、亡くなった両親名義の持ち家があり、その管理・処分が課題。兄も施設入所中で支援困難。相続や処分の手続きができず、身寄りがいないため成年後見人の検討が必要。

協議内容:

- ・ 現状の確認: 親族による申し立てが不可能なため、市町村長申し立てが必要なケースである。障害者の場合は障害福祉課が担当となる。

。課題：成年後見人がついたとしても、財産管理が中心となり、本人の意思決定（自宅をどうしたいか等）や身上監護のサポートが不十分になりがちである。また、申し立てから選任までの間の支援や、選任後のバックアップ体制（市民後見人の活用等も含め）が現状では不足している。

。意見：後見人はあくまで「サポートチームの一員」であるべき。後見人選任までの「つなぎ支援」や、選任後に本人の意思決定を支える仕組み、SOS センター等との連携によるチーム支援の構築が必要ではないかとの意見が出された。

② 議題 2：定例会課題報告シート 10 について

事例概要：

48 歳、発達障害、既婚、子 2 人。障害年金の通帳を姉が管理し、半額しか本人に渡していない。「実母の面倒を見るなら全額返す」と条件をつけられている。夫はトラブルを避けたがっているが、本人は不満を持っている。

協議内容：

。虐待の可能性：本人の意思に反して年金を管理し、介護を条件に金銭を制限することは、経済的虐待に該当する可能性が高いとの認識が示された。

。家族への介入：「家族間の問題」として介入を躊躇しがちだが、本人の権利擁護の観点から行政や支援者が介入すべき案件である。姉に対し、その行為が障害者虐待防止法に抵触する可能性があることを明確に伝え、理解を促す必要がある。

。意見：家族関係を壊さない配慮は必要だが、状況から見て虐待であるため、相談支援専門員だけでなく虐待防止担当部署とも連携して対応する仕組みが必要であるとの意見でまとまった。

③ 議題 3：定例会課題報告シート 12 について

事例概要：

。精神障害 3 級の女性。GH 入居・就労 B 型利用中。過去に万引き歴があり、今回も就労先で窃盗を行い、GH 退去を求められている。問題行動を伝えたと新しい受け入れ先が見つからない。

協議内容：

。対象の認識：本件は逮捕・勾留された「触法障害者（矯正施設出所者）」ではないが、軽犯罪を繰り返すケースである。

。支援のギャップ：地域定着支援センターは刑務所出所者等を主対象としている傾向があり、本件のような「触法に至る前（または不起訴等）」のケースが支援の隙間になっている可能性がある。

。意見：地域定着支援センターが持つノウハウ（受け入れ事業所への加算活用や連携等）を、相談

支援事業所と共有・連携して活用すべきである。また、犯罪傾向のある利用者の受け入れに難色を示す事業所が多い中、職法に至る前の段階での支援体制や連携スキームを構築する必要があるとの意見が出された。

5 その他・閉会

- その他、特段の追加事項はなし。